

ふちゅう歴史散歩

Vol.121

山の神第1号古墳に葬られた人



山の神第1号古墳（2号主体）が発掘されたときの様子です。石棺内部の幅は30～35cmで、写真右側の人骨が男性、左側の頭部が赤色顔料（酸化第二鉄）で塗られた人骨が女性のものです。

山の神第1号古墳（約1600年前）は昭和57（1982）年、移転前の府中東高校（元町）の近くの丘陵で工事中に発見されました。現地で保存が困難と判断されたため、発掘調査が行われました。現在は造成されてなくなっています。

発掘調査では、一つの石棺の中に2体の人骨がほぼ完全な状態で残っていました。狭い石棺にも関わらず頭を同じ方向に向けて埋葬されていました。

この2人は形質人類学的な調査の結果、性別・身長・年齢が分かりました。1人は成人男性で身長154cm・年齢32～35歳、もう1人は成人女性で身長150センチ・年齢25～27歳で妊娠歴があることまで分かりました。

現代の私たちの感覚からすると、男女が一緒に葬られている場合は夫婦ではないかと考えますが、歯の遺伝的特徴の研究成果によると、兄弟姉妹・いとこなどの血縁関係を基本として一緒に葬られていたとみられています。この古墳の2人はどういう関係だったのでしょうか。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見！

府中市への提言を終えて 高校生編 その78

私たち2年生は、府中セミナーという総合的な探求の学習の中で、観光・教育などの6つのテーマから府中市の課題とその解決策を考えてきました。そして、2月17日に府中市役所の方に御来校いただき、6つの代表グループが「府中市への提言」として発表しました。

SNSやeスポーツを通して、若者を府中へ呼び込もうと考えるグループもあれば、カフェや教育機関を設置することで府中市の活性化を図ろうと考えるグループ、食や観光名所を通して地域の人々と一緒に盛り上げようとするグループがありました。それぞれが府中市役所の方の鋭い質問を受け、課題をさらに熟慮することができました。

情報を集め、あらゆる視点から解決策を導いたり、他のグループの発表内容と比較して自分達に足りない視点を補ったり、主張を分かりやすく効果的に伝えるために発表の工夫をしたりと、発表までの取り組みは一人一人の力になったと思います。今回の活動で身に付いた力をこれからの学習や進路実現に向けて生かしていきたいと思っています。



府中高校2年6組



府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30～16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

放送日	放送内容
5月10日(月)	「味噌蔵ART展・ナバカフェ」オープンします！
5月17日(月)	自然の中でワーケーション 四季の里 木製トレーラーハウス
5月24日(月)	企業・起業者紹介 「パティスリーパンセ」
5月31日(月)	企業・起業者紹介 「株式会社 松創」

3年目に突入！

ラジオでも聴ける！

公式SNS facebook

スマホアプリ radiko (ラジコ)

府中市メール配信 サービス

